

このコンサートについて



いわきアリオス所蔵の16フィート弦付ジャーマン・チェンバロを演奏する大塚直哉さん
(提供:いわきフランス)

「バッハとゴルトベルク変奏曲について

ヨハン・セバスティアン・バッハは、今から350年ほど前、18世紀に現在のドイツ国内で活躍した作曲家。日本では「音楽の父」とも呼ばれる、最も有名なクラシック音楽の作曲家です。彼は、ルネッサンスの伝統に則ったポリフォニーと、イタリアの最新様式であったソナタ、コンチェルト、また流行のフランス風バレエ組曲やロココ風の様式を、自らの内で昇華し、この「バッハの音楽」こそが次世代に受け継がれていきました。

生前には決して高い人気も、評価も得られなかったのですが、現在、彼の作品は世界中で演奏されています。その中でも、彼がライフワークとして出版に尽力した4巻の《クラヴィア練習曲集》の掉尾を飾るのが、〈ゴルトベルク変奏曲 BWV988〉です。可憐な「アリア」と、30曲にも及ぶ様々な「変奏」は、持てるすべての作曲技法を総動員した、まさに彼の代表作です。

関連事業

大塚直哉 チェンバロ・ワークショップ

2021. 6/6 (日)

いわき市文化センター大ホール
(いわき市平字堂根町1-1)

- ・レッスンA: お楽しみコース
= 1人15分~20分
11:00~13:30 (10:45開場) 先着6名程度
- ・レッスンB: じっくりソロ・通奏低音コース
= 1人40分程度
14:30~17:30 先着3名程度

文: いわき芸術文化交流館アリオス 音楽学芸員 足立優司

「大塚直哉さんについて

東京藝術大学音楽学部古楽科教授、そして副学部長も務める大塚直哉さんは、東京藝術大学楽理科を卒業後、同大学院でチェンバロ・オルガンを専攻し、さらにオランダ・アムステルダムのスウェーリング音楽院のチェンバロ科とオルガン科を卒業されています。父上がいわき市のご出身という縁のある演奏家で、東日本大震災の翌年3月より毎年、いわき市でワークショップを開催されています。

いわきアリオス所蔵 16フィート弦付ジャーマン・チェンバロについて

いわきアリオスが所蔵するチェンバロは、2008年、ハンブルクに工房を構える楽器製作家マティアス・クラマー氏によって、歴史的技法で製作されたものです。16フィート弦は通常より1オクターヴ低い音が鳴る弦列で、このレジスターを持つ楽器は、18世紀後半のドイツにおいて広く製作されたと考えられています。この楽器は、ハンブルクの博物館に遺されているチェンバロの蓋を基に、ハンブルクに工房を構えていたクリスチャン・ツェルやアルブレヒト・ハスが製作した楽器の特徴を備え、現代の演奏家の要求に応えられる水準の楽器として製作されています。

大塚直哉さんによる「ゴルトベルク変奏曲」の演奏は、後日 Alios YouTube Channel で公開予定です。



Alios YouTube Channel

4/24 (土)
10:00~
予約開始!
電話・いわきアリオス
窓口のみの受付

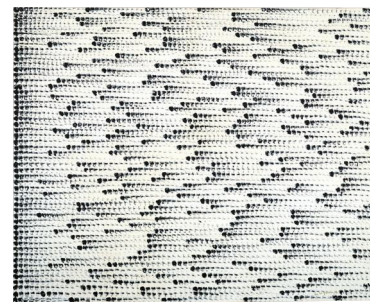
【講師】
大塚直哉 (チェンバロ・お話)

【受講曲】
チェンバロのための作品を自由に選んでください。
(お楽しみコースの方は5分以内、じっくりソロ・通奏低音コースの方は制限なし)
チェンバロに触るのが初めての方は、大塚直哉編『クラヴィス』(現代ギター社)または、J.S. バッハの〈インヴェンション〉、〈小アレリユード BWV924~942〉などから選曲されることをお勧めします。

【料金】
聴講・見学(レッスンA・B通し) 500円 (3歳以下無料: 要事前申込み)
受講 レッスンA: 1,000円
レッスンB: 2,000円 (共に聴講料含む)

李禹煥《点より》(LEE UFAN, From Point)の特別展示

文: いわき市立美術館 館長 杉浦友治



李禹煥《点より》1973年 岩彩・カンヴァス
いわき市立美術館所蔵

李禹煥は、1936年韓国生まれで、1950年代半ばに来日以降、日本を拠点に活動し、欧米の美術館で個展が開催されるなど、国際的に高く評価されている美術家です。本作品は、1972年から始められた「点より」シリーズを代表する作品のひとつ。左から右へ一定の方向で、点を打つ行為が画面いっぱいに繰り返されています。余白の白との対比の中、ざらざらとした質感を持つ岩絵具をたっぶり含んだ点が、徐々にかすれていく流れが一つのサイクルで、点を打つ回数の変化を伴いながらそのサイクルが繰り返され、無限につながるスケールの大きな世界や、そこを貫くエネルギーのようなものを感知させる絵画の場が開かれます。今回の催しでは、バッハの「ゴルトベルク変奏曲」とのマッチングによる効果を考え、特別に展示します。音楽と美術と美術館建築空間とのハーモニーをお楽しみください。

新型コロナウイルス 感染症の流行に伴う ご来場時のお願い

- 感染拡大防止策にご協力ください
 - ・マスクの着用
 - ・こまめな手洗い、手指消毒
 - ・人との間隔をある程度とる
- 以下の方は来館をお控えください
 - ・発熱、呼吸器症状(せき、くしゃみ等)がある方
 - ・2週間以内に感染拡大地域や国への訪問歴がある方、またはその濃厚接触者

交通のご案内 JR常磐線「いわき」駅南口より徒歩12分



いわき市立美術館 〒970-8026 福島県いわき市平字堂根町4-4

- 高速バス(東京-いわき線、郡山-会津若松-いわき線、福島-いわき線) 平中町バス停より徒歩3分
- 常磐・磐城自動車道いわき中央ICより車で15分
- 駐車場は近隣の公共駐車場を併用してご利用下さい。
- 有料駐車場(平新川、平十五町目)は、美術館をご利用の場合、3時間までの駐車券を1階受付にてお渡しします。
- 市役所駐車場は、土日祝日は一般開放しています。

企画:
いわき芸術文化交流館アリオス
〒970-8026
福島県いわき市平字三崎1番地の6
電話 0246-22-8111(代表)
ファクス 0246-22-8181

プロデュース:長野隆人(いわき芸術文化交流館 支配人) キュレーション: 足立優司(いわき芸術文化交流館 音楽学芸員)
杉浦友治(いわき市立美術館 館長) 調律:梅岡俊彦(梅岡楽器サービス)
撮影・録音・編集:布施雅彦 デザイン:クボキザデザイン 協力:熊谷乃理子(いわきフランス)
Produce:NAGANO Takahito(Intendant,Iwaki Performing Arts Center) Curator:ADACHI Yuji(Curator,Iwaki Performing Arts Center)
SUJIURA Yuji(Director,Iwaki City Art Museum) Tuner:UMEOKA Toshihiko
Video Shooting,Recording,Editing Recording:FUSE Masahiko Design:Kuboki Design
Special Thanks: KUMAGAI Noriko(Iwaki Friends)